

## ゆり組

### — 3学期の目標 —

- ◎ 互いの考えを伝えあい、良さを認め合いながら友だちと協力してやり遂げる充実感を味わう。
- ◎ 様々な素材を使って友だちと一緒にイメージを膨らませながら製作することを楽しむ。

### — 活動内容 —

#### 作ってみたい!



(協同性・思考力の芽生え、数量・図形、文字等への関心・感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)

- 2月に行われた作品展では、日頃子ども達が好きな絵本をテーマに色々素材や表現方法を体験し製作に興味を持つ子どもが増えてきていた。
- 製作が楽しくなり、家庭で廃材を集めて園に持ってくる子どもも出てくる。
- 自由に好きな素材で製作すると、日常使っているセロハンテープをうまく接着できない素材があったり、はさみでうまく切れないという事も出てくる。
- その都度、一緒に考えたりヒントを出しながら解決していくことを積み重ねた。
- 壁面の共同制作に取り組むことで、布ガムテープ、紙ガムテープセロハンテープの特徴や使い方、はさみを使う時のなどを確認し廃材遊びも更に意欲的になり、広がりが出てきた。
- この活動をきっかけに廃材遊びでも少人数での共同製作に取り組む子どもたちも出てきた。
- 大型の段ボール箱なども使って、駐車場を作って、作った物を使って遊ぶ姿も見られるようになった。

#### 慣れ時間のサークルタイム



(協同性、感覚、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)

- 友だちとの関りが深まり、自由遊びで今日の続きを約束する姿も見られる。
- けんかも時々あるが、声をかけることで落ち着いて、解決の話し合いをする姿も見られるようになる。しかし、思いが通らないとすぐに手が出てしまったり、保育者に訴えてくることも多い。
- 友だちとの関りの中で、思いが通らなかった事に、伝え方が上手くいかない時や相手の気持ちを考えるためまだ保育者の仲介が必要な場面が多い。
- 相手の気持ちを考えたり、トラブルの解決方法を落ち着いて考える時間を持つために、帰りの会の時間に今日あったトラブルや、事例を想像してどうすればいいかを考え、話し合う時間を設けるようにした。
- 気持ちが落ち着いている時間に話し合うことで意見が活発に出る。
- トラブルになった際に、保育者が話し合いの時のことを思い出すような声掛けをすると少し落ち着いて相手の気持ちや解決の仕方を考えることもできるようになった。

### — 3学期の反省 —

- 3学期に入り、作品展に向けて取り組んだため、製作には興味を持って遊ぶ子どもたちが多かった。
- 製作に対する意欲が高まると、想像力も高まり、イメージしたものを自分の手で具現化していく事を楽しめる様子も見られた。廃材遊びがもっと楽しめるような環境づくりを更に深めればよかった。
- 友だちとの関りが深まっていきトラブルも増える。その都度友達の良い気持ちを考える、解決の仕方を考える機会を作ることで少しずつ相手を思いやる行動ができるようになってきている。

### — 年間反省 —

- 個性豊かなクラスで、それぞれの遊びや主張を思いおもいに表現していた 1 学期から様々な行事や遊びを経験し友だちとの関りを深めている。
- 好きな遊びを見つけ、ごっこ遊びで役になりきって遊んだり、自分たちで工夫したり考えて遊びを進めることができるようになりつつあるので、遊びが深まるようにその時にあった環境を整えていきたい。